

実施概要

NGO CSW68 フォーラム オンライン・パラレルイベント

女性差別撤廃条約： 日本の婚姻における夫婦同姓規定と若者から見た貧困の課題

Zoomミーティング / 英語のみ

Meeting ID: 853 0036 9052 Pass: 0316 *事前申し込み不要。直接ご参加ください。



2024年3月16日 (土)

日本時間 午後10:30-12:00 / NY時間 午前9:30-11:00

1. イントロダクション

堀内 光子

2. あなたの名前は？日本の夫婦同姓制度とジェンダー

波多野 綾子

3. 日本における貧困の女性化と教育

藤田 美音子

主催：国際女性の地位協会

国際女性の地位協会(JAIWR)は女性差別撤廃条約の研究・普及を通じて、女性の地位向上を図る団体です。
1987年設立、1998年に国連経済社会理事会の協議資格を取得し、四半世紀を超えて活動しています。



実施報告



- 参加者の人数 約100名
- 参加は 約10カ国から
- イベント実施の感想

【成果】

冒頭で、日本の女性差別について男女賃金格差や女性の貧困に関するデータを示しながら現状を説明したことで、ジェンダーギャップ指数125位である日本の女性差別の課題の大きさを共有することができました。

若い2名の会員からの発表では、国際的な場で働く女性の事例等を交えて夫婦同姓の強制が女性差別であること、CEDAWからの度重なる勧告に沿って選択的夫婦別姓制を可能にする早急な民法改正が必要なことを強く訴え、また、“親ガチャ”という流行語を女性の貧困に関連づけて具体的データや事例から説明し、教育の重要性を主張しました。また、それぞれのテーマに関わる女性差別撤廃条約の関係条文と女性差別撤廃委員会からの一般勧告に言及しながら説明し、条約の内容についての理解も深めることができました。

意見交換では、夫婦同姓の強制による地方における課題や、キャリア教育の重要性、単身高齢女性の貧困の問題、海外で生活する日本人女性から日本におけるフェミニスト運動推進の難しさについての発言がありました。

イベントを通して、女性が経済的に自立することが困難な日本の現状について、夫婦同姓、教育の視点から理解を深め、考える機会となり、女性の貧困問題解消への取り組みが急務であることを印象付けることができました。

【課題】

途中で2名の男性からの妨害行為が入り、運営スタッフが妨害者を特定して退出させるという事態が発生しました。自由に入退室できる設定のZoomミーティングではなく、ウェビナーでの開催を検討する必要性を感じました。